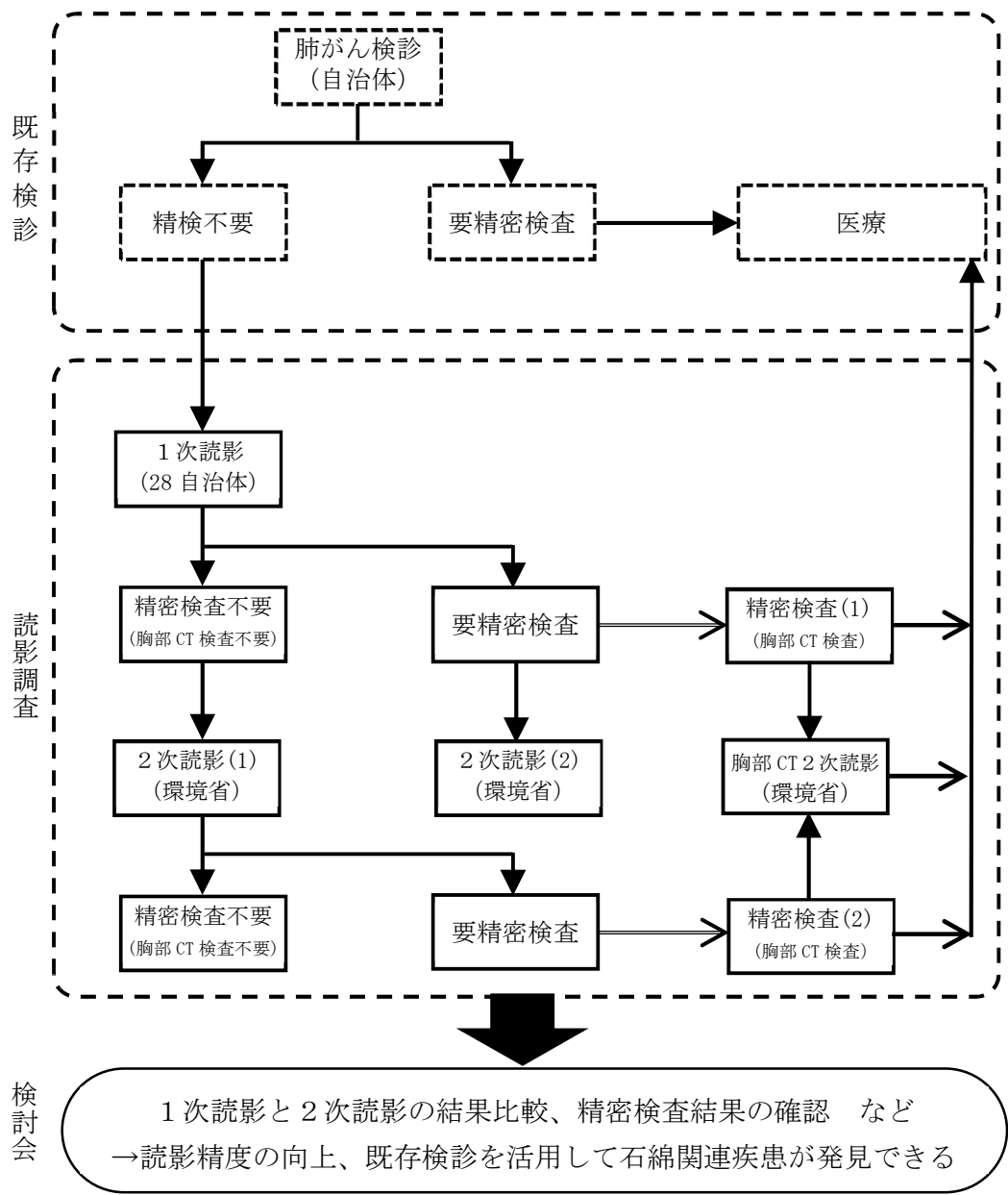


令和 8 年度石綿読影の精度に係る調査の実施状況について

石綿読影の精度に係る調査は、調査への参加を希望した自治体（令和 8 年度は現状 28 自治体、以下「参加自治体」という。）及び環境省（環境省から調査を請け負う事業者含む。以下「事務局」という。）において実施している。

参加自治体は、環境省の委託を受けて、参加者の胸部 X 線画像（肺がん検診等を活用）について石綿関連疾患を念頭に置いた読影（以下「1 次読影」という。）を実施し、事務局は石綿関連疾患について十分な知識を持った専門家による読影（以下「2 次読影」という。）を実施している。1 次読影と 2 次読影の結果を照合すること等により、自治体の石綿読影の精度向上に向けた知見を収集している。

読影調査のフローチャート



参加自治体の 2026 年 7 月末時点の実施状況は以下のとおりである。

1. 参加自治体

令和 8 年度に読影調査に参加している自治体は以下のとおりである。

埼玉県：さいたま市

岐阜県：羽島市

大阪府：大阪市、堺市、岸和田市、八尾市、泉佐野市、河内長野市、東大阪市、
泉南市、阪南市、熊取町、岬町

兵庫県：神戸市、尼崎市

奈良県：奈良市、大和高田市、桜井市、御所市、三郷町、斑鳩町、田原本町、
王寺町、広陵町、河合町、吉野町

福岡県：北九州市

佐賀県：鳥栖市

2. 調査の実施状況

現時点での調査の実施状況は以下のとおりである。参加者は 27 名で、1 次読影を実施した者は 27 名で、内 2 名が要精密検査と判定された。2 次読影(1)を実施した者は 25 名で、内 0 名が要精密検査と判定された。